

のうがく こども能楽入門 ワークショップのあんない

参加無料

— 定員 —
50名程度

のうがく 「能楽」ってナニ? 「能楽」はむずかしい?!

今から650年前に誕生した日本を代表する伝統芸能で、面をつけた人が謡(うたい)と呼ばれる歌や笛(ふえ)、太鼓(たいこ)などの演奏に合わせて演じる劇です。

今回、小中学生の皆さんにも能楽に興味を持ってもらえるよう

講師の先生のわかりやすいお話を聞きます。

また、実際に舞台の上で面をつけたり、

太鼓(たいこ)をたたいたりする体験をしてもらいます。

日時

平成30年

3月10日(土)

14:00~15:30

場所

ずいしんいん のう ま 随心院 能の間

山科区小野御霊町35
(地下鉄東西線小野駅 徒歩約5分)

【随心院へのアクセス】
小野駅から徒歩約5分



講師

重要無形文化財認定保持者
公益社団法人京都観世会理事

吉浪壽晃氏



第1部 能楽入門 ワークショップ

- 講師から能楽の歴史や能面等にまつわるお話を聞きましょう。
- 実際に能楽を体験してみましょう。



第2部 能楽鑑賞



演者による能「橋弁慶」を見ましょう。

※裏面に解説があります。

◆ 演者 ◆

シテ……吉浪壽晃氏
 牛若……吉浪和紗氏
 笛……森田保美氏
 小鼓……林 大和氏
 大鼓……石井保彦氏
 太鼓……井上敬介氏



地謡……深野貴彦氏
 地謡……宮本茂樹氏

保護者の皆さまへ

「能楽」とは？

日本古来の伝統芸能で舞踊と音楽による演劇の一つで、「謡」という声乐と「囃子」という楽器演奏に乗せて舞踏的な動きを進めていきます。

また、「能楽」は、「能面」あるいは「面」という仮面を使う仮面劇です。「能面」は、「シテ方」と呼ばれる能の主演を演じる役者や「シテ方」を補助する役者がつけます。「能面」は、普段の自分と全く違う次元の役に変身するための道具で、役者にとってはとても大切なものです。

能舞台では、謡という声乐を担当する人々が座るところと、太鼓、大鼓、小鼓、笛など囃子を担当する人々が座るところが決まっています。



今回鑑賞するのは 橋弁慶

比叡山西塔近くに住む武蔵坊弁慶は、ある願い事があって、五条天神へ参詣をしようと思っていたところ、従者から、五条の橋に化け物のような人斬りが出るので、参詣を控えるように進言されます。いったんは思いとどまった弁慶ですが、恐れをなして逃げ出すことは無念と、怪しい人斬りを退治することを決意します。弁慶が五条の橋に行くと、牛若(牛若丸)が女装して待ち構えていました。女だからとやり過ごそうとする弁慶に牛若が斬りかかります。弁慶は長刀を振るって応戦しますが、身軽な牛若に翻弄されます。ついに降参した弁慶は、牛若と主従の契りを結びました。

参加申込み

■対象

山科区内の小学4～6年生
及び中学生(保護者の同席も可)

■定員

50名程度(応募者多数の場合は、
抽選により参加者を決定します。)

■申込方法

申込み締切:

2月16日(金) 17:00 必着

①郵便番号、②住所、③氏名(ふりがな)、④電話番号、
⑤学校名、⑥学年を明記のうえ、はがき又はFAXでお
申し込みください。

※後日、当否にかかわらず結果を通知します。

申込み先

山科区役所地域力推進室総務・防災
担当 こども能楽入門ワークショップ 宛

はがき
宛先

〒607-8511

(住所記載不要)

FAX

502-1639

お問合せ先

山科区役所地域力推進室総務・防災担当

TEL: 592-3064